

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社ウェルファムフーズ			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-0074 東京都千代田区九段南一丁目6番5号					
本票作成	部署名: リスクマネジメント部									
主たる業種	分類コード	09	業種名: 食料品製造業							
事業の概要	ブロイラーの肥育、処理、加工 岡山事業所従業員数: 276名 (2024年3月)									
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地					
	①	岡山事業所 岡山工場			新見市西方1567					
	②	岡山事業所 足見A農場			新見市土橋37					
	③	岡山事業所 吉家E農場			高梁市備中町西山2415					
	④	岡山事業所 足立第2農場			岡山県新見市足立田曾2187					
	⑤	岡山事業所 吉家B農場			高梁市備中町西山2540-2					
	⑥	岡山事業所 足立第3農場			岡山県新見市足立小木戸2368					
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 27 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台									

計画期間	令和6年度			令和6年度 (1箇年度)			
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 2.5 %	目標区分	20%以上	20~15%	
		<input type="checkbox"/> 原単位基準			15~10%	10~5%	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和5年度)			目標年度 (令和6年度)			
	16,343 t CO ₂			15,950 t CO ₂			
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和5年度) の排出量		
	①	岡山事業所 岡山工場			7,197 t CO ₂		
	②	岡山事業所 足見A農場			631 t CO ₂		
	③	岡山事業所 吉家E農場			611 t CO ₂		
	④	岡山事業所 足立第2農場			551 t CO ₂		
	⑤	岡山事業所 吉家B農場			468 t CO ₂		
	⑥	岡山事業所 足立第3農場			461 t CO ₂		

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 岡山工場の原料使用量 (t) (ブロイラー工場の処理重量 +レンダリング工場の原料使用量)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		0.3273 t CO ₂ / (t)	0.3190 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和5年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

- 生産量の増加、省人化や品質改善を目的とした設備投資を計画しているため、総排出量の削減は困難であり、原単位での削減計画とした。
- 原単位の分母は、岡山工場の原料使用量 (生鳥処理重量 + レンダリング工場の原料使用量)。省エネ法で国に報告しているもので、生鳥の肥育にも関連していることから選定した。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・岡山工場を運営する製造部にエネルギー管理士、農場を経営する農場部にエネルギー管理員の有資格者を配して、省エネルギーに取組んでいる。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山事業所 製造部 (岡山工場)	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間の設備停止 ・照明器具を順次蛍光灯からLEDへ変更。 ・空調機運転の効率化
岡山事業所 農場部	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏舎で使用する換気扇について、消費電力が従来型の1/3程度のタイプ（スマートファン）を導入。 ・老朽化した屋根等の改修により、鶏舎の断熱を強化し、結露防止と冬場の保温を実現。 ・鶏糞を燃料としたバイオマスボイラーで床暖房を行う、断熱性能の高い鶏舎を建設。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山事業所 製造部 (岡山工場)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存照明のLED化を順次進めていく。 ・機械設備の老朽化に伴う入替や、新規導入の際には、省エネ性能の向上も選定基準のひとつとする。
岡山事業所 農場部	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した鶏舎設備（屋根・壁・カーテン）の改修及び断熱強化を順次行う。 ・建設する鶏舎は、断熱能力の高いものとし、鶏糞原料のバイオマスボイラーで床暖房を実施する予定。 ・2018年度以降、鶏舎1棟に温湿度センサー、CO2センサー、Webカメラを設置し、データを蓄積中。エネルギー管理含め、最適な管理への検討を継続していく。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

令和5年度の温室効果ガス排出量実績修正に伴い、以下3点を変更。

- ①基準年度（令和5年度）の温室効果ガス排出量（15,928 ⇒ 16,343tCO2）
- ②目標削減率（0.0 ⇒ 2.5%）
- ③原単位当たり排出量（0.3190 ⇒ 0.3273）